

陸軍當局ハ吾人ノ運動ニ依リテ幾分目醒メタ  
 標テアル本日朝日新聞紙上救済金ノ給與ヲ  
 改正シテ従来一ヶ年在職者ニ刀ヲサレハ支給  
 セサリレヲ今ハ一ヶ月在勤者ニ対シテ之給  
 與スルコトニ改メタ標テ記事カ刀ヲ夕力之ハ  
 吾々ノ運動ノ效果テアル今ノ世ノ中ハ運動ヲ  
 セテクテハ駄目テアル運動サレスレハ其目的  
 ハ貫徹スル従来尙ハ種々甘言ヲ以テ吾人勞  
 働者ヲ瞞着シテ居タ最耳瞞着サル、時ニアラ  
 ス協力團結シテ吾人ノ目的貫徹ニ努力セラレ  
 ンコトヲ望ム云々

安達 和

砲兵工廠職工会ノ委員會

日時 大正十年七月五日

場所 大塚仲所西信寺

會合者 人員 安達、横田、松本、島、大塚 外七名

種族 山形労働會 工人會

出席 安達、横田、松本、島、大塚 外七名

午前十時に會合し、茶をすし、決議文を提出し

たるのみにて、午後十一時より電車にて陸軍省に向ひ

山梨隊相に決議文を提出する筈

意見を提出し、その結果、更に奉命費徴せしむる事

なるが、概にえへり、大事に公けらるべき様、採新

大正十年七月五日  
 松本記 振

附 録